



**2009年9月期 第1四半期決算説明会**  
**株式会社エスケーエレクトロニクス**

2009年2月9日(月)

**1. 2009年9月期 第1四半期決算概要**

**2. 2009年9月期 第2四半期以降決算見通し**

## 2009年9月期 第1四半期の概況（2008年10～12月）

### 液晶パネル市場の動向

- ・世界経済の減速の影響を受けLCD最終製品の世界需要は予想以上に低迷。
- ・パネル価格が大幅に下落。
- ・パネルメーカーが著しく稼働率を低下、在庫調整が長期化。
- ・全パネルメーカーが赤字に転落。
- ・パネル生産設備の投資を延期、縮小、中止発表。

### 当社グループの概況

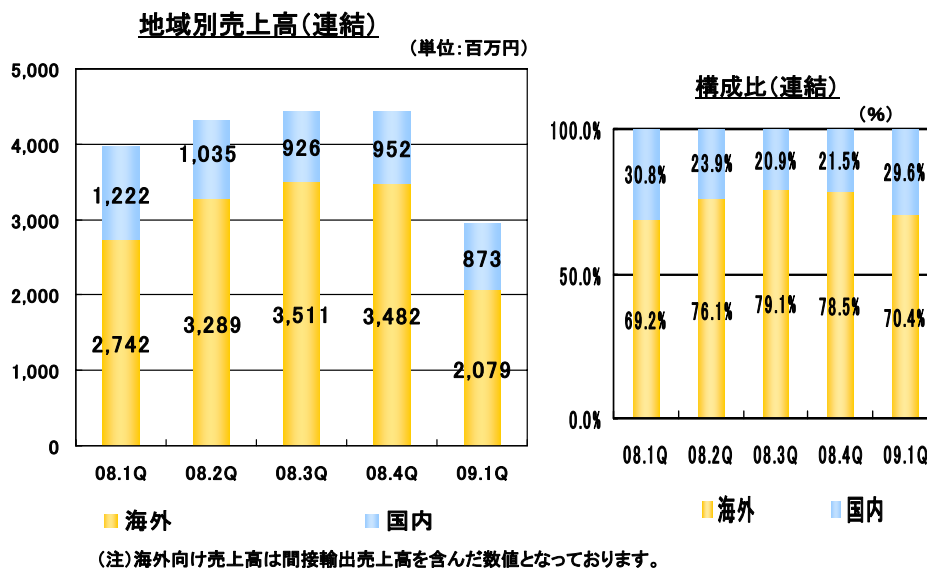
- ・パネルメーカーの収益性悪化、稼働率低下及び設備投資の延期、縮小、中止により、新設ライン用・量産用・開発用などすべてのフォトマスクの需要が減少。特に11月下旬以降、需要の低下幅が極端に大きくなった。
- ・上記のフォトマスク需要の減少により、フォトマスク業界はマスク価格の引き下げにより競争が激化し、売上、収益とも悪化。
- ・対応策として、社内で非常事態宣言を行い、固定費・変動費などコスト削減施策を実施。

## 2009年9月期連結第1四半期決算概要

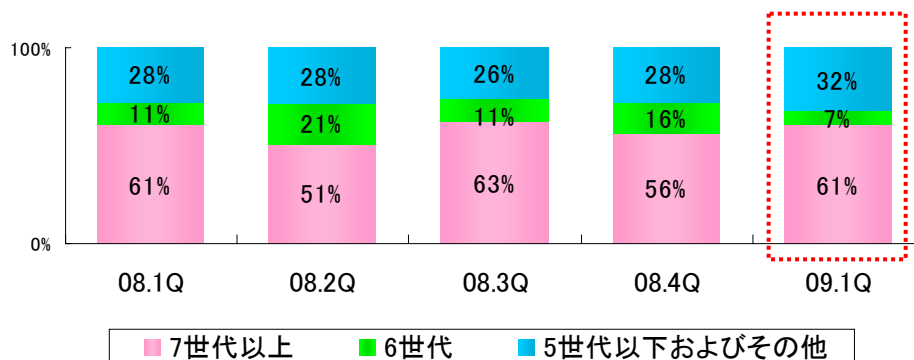
（単位：百万円）

	2008年9月期 1Q	2009年9月期 1Q	前年同期比 (%)
売上高	3,964	2,953	—
営業利益	△92	△627	—
経常利益	△131	△712	—
当期純利益	△72	△690	—
設備投資	60	3,220	5,366.7
減価償却費	651	628	96.5
研究開発費	62	192	309.7

## 地域別フォトマスク売上高の推移

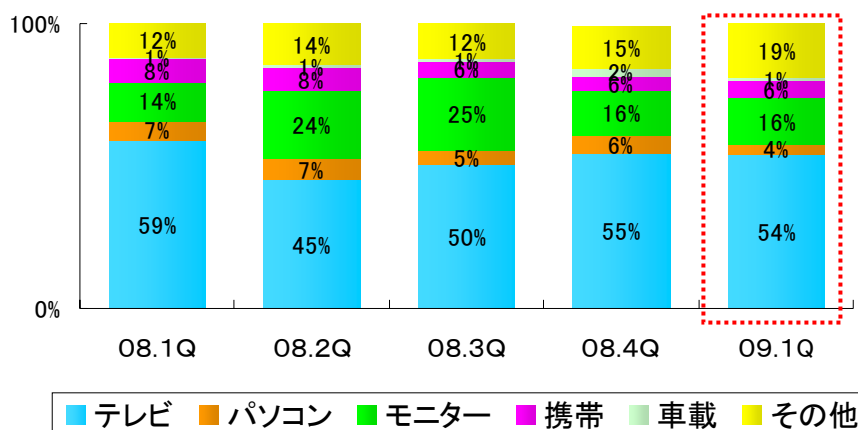


## 世代別フォトマスクの売上高比率



※6世代の構成比が減少=台湾の受注の低迷

## アプリケーション別フォトマスク売上構成比



## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

連結B/S	2008年9月末	2008年12月末	増減
(資産合計)	25,709	28,956	3,247
現金及び預金	2,167	2,267	100
受取手形及び売掛金	3,942	3,055	△ 887
原材料及び貯蔵品、仕掛品計	2,180	1,939	△ 241
その他(流動資産)	783	623	△ 160
有形固定資産	15,985	20,418	4,433
無形固定資産	316	308	△ 8
投資その他資産	333	343	10
(負債合計)	12,500	17,325	4,825
支払手形及び買掛金	3,336	3,715	379
短期借入金	600	570	△ 30
1年以内返済予定の長期借入金、 長期借入金計	6,757	8,318	1,561
未払法人税等	338	24	△ 314
設備関係未払金	98	2,917	2,819
その他(負債)	1,369	1,780	411
(純資産合計)	13,209	11,631	△ 1,578
自己資本(株主資本、評価・換算差額等計)	11,324	10,118	△ 1,206
少数株主持分	1,885	1,512	△ 373
自己資本比率	44.0%	34.9%	-9.1%

# キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

(参考)

	2008年9月期 1Q	2009年9月期 1Q	2008年9月期 累計
営業活動によるキャッシュフロー	1,627	931	4,568
投資活動によるキャッシュフロー	△ 1,277	△ 2,081	△ 4,533
フリーキャッシュフロー(営業CF+投資CF)	350	△ 1,150	35
財務活動によるキャッシュフロー	908	1,378	603
現金及び現金同等物の増加額	1,248	99	568
現金及び現金同等物の期末残高	2,848	2,267	2,167

1. 2009年9月期 第1四半期決算概要

2. 2009年9月期 第2四半期以降決算見通し

## 2009年9月期 第2四半期以降の見通しについて

### 液晶パネル市場の動向

- ・シャープ株式会社の第10世代液晶パネル工場立ち上げ準備、韓国メーカーの第8世代ラインの増設。
- ・パネル需給バランスは09年後半から改善が期待されるものの、パネルメーカー稼働率の回復時期が未だ不透明。(メーカーによって回復時期がばらつく見込み)
- ・アメリカデジタル化放送切替は当初予定の2月から6月にずれ込むものの、テレビ需要増加に期待。

### 当社グループの概況

- ・滋賀工場の次世代フォトマスクの生産スタート。  
(滋賀工場の設備償却は2月からスタート)
- ・既存フォトマスク(8世代以下)も第1四半期同様需要が低迷するリスクあり。  
回復時期は、パネルメーカーの収益率、稼働率により大きく変動する。

## 2009年9月期連結決算 第2四半期・通期業績予想を修正

(単位:百万円)

	第2四半期累計		通 期	
	前回発表予想	今回修正予想	前回発表予想	今回修正予想
売上高 (増減率%)	9,765	5,840 (△40.2)	24,000	17,000 (△29.2%)
営業利益 (増減率%)	△660	△1,850 (-)	290	△1,600 (-)
経常利益 (増減率%)	△745	△1,980 (-)	120	△1,800 (-)
当期純利益 (増減率%)	△770	△1,880 (-)	35	△1,540 (-)
設備投資	—	—	14,700	14,400
減価償却費	—	—	6,500	5,400
研究開発費	—	—	550	370

## 収益性改善に向けての取り組み

### コスト削減計画

- ◎取締役： 月額報酬の10～20%を減額
- ◎執行役員等管理職： 執行役員等管理職手当の一部減額
- ◎監査役： 月額報酬の5%を自主返上
- ◎京都工場生産ラインの一部休止  
(生産の効率化)
- ◎設備投資の原則凍結 (滋賀工場を除く)
- ◎研究開発費の大幅圧縮
- ◎人件費の削減  
(残業削減、勤務体制の見直し、シフト変更、フレックス対応)

## 戦略課題への取り組み

- 滋賀工場の早期収益化
- 既存工場(8世代以下)の収益性改善
- リーディングカンパニーにふさわしい業界  
ナンバー1の最先端技術力の構築(他社との差別化)